

## 歯科矯正学分野

### 【著書】

- 1) 齋藤 功:美しいスマイルと『食べる』. 前田健康、花田晃治編; 21世紀は『食べる』時代—食べるを考えたことありますか?, 114-119頁, 医歯薬出版株式会社, 新潟, 2016.

### 【論文】

- 1) Ohkura M, Ohkura N, Yoshiba N, Yoshiba K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Saito I, Okiji T: Orthodontic force application upregulated pain-associated prostaglandin- $I_2$ /PGI $_2$ -receptor/TRPV1 pathway-related gene expression in rat molars. *Odontology*, 2017. In press.
- 2) Kamimura R, Hossain MZ, Unno S, Ando H, Masuda Y, Takahashi K, Otake M, Saito I, Kitagawa J: Inhibition of the degrading of 2-arachidonoylglycerol (2-AG) attenuated orofacial neuropathic pain following an injury to the trigeminal nerve in mice. *J Oral Sci*, 2017. in press.
- 3) Madachi K, Takagi R, Oominato R, Kodama Y, Iida A, Ono K, Asahito T, Saito I: Cephalometric Evaluation after Two-Stage Palatoplasty Combined with Hotz' s plate: A comparative study between modified Furlow' s and Widmaier-Perko' s Methods. *Int J Oral Maxillofac Surg*. 46(5):539-547, 2017.
- 4) Otake M, Kurose M, Uchida Y, Haegawa M, Yamada Y, Saito I, Yamamura K: The interactions between different tastes on initiation of reflex swallow elicited by electrical stimulation in human. *Odontology* 104(3): 282-290, 2016.
- 5) Sakaue K, Fukui T, Sasakura C, Hori K, Ono T, Saito I. : Tongue pressure production during swallowing in patients with mandibular prognathism. *J Oral Rehabil*. 43(5):348-55, 2016.
- 6) Nishino K, Kohara A, Yakita A, Ochi K, Hayashi T, Takagi R, Kobayashi T, Terada K, Saito I; Three-dimensional analysis of facial changes in skeletal Class III patients following mandibular setback surgery. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 28(6): 481-487, 2016.
- 7) Fukui T, Kano H, Saito I: Nonsurgical treatment of adult with an open bite and large lower anterior facial height with the edgewise appliance and temporary anchorage devices. *Am J Orthod Dentofacial Orthop* 149: 889-898, 2016.
- 8) Akiba Y, Mizuta A, Kakihara Y, Nakata J, Nihara J, Saito I, Egusa H, Saeki M: The inhibitors of cyclin-dependent kinases and GSK-3 $\beta$  enhance osteoclastogenesis. *Biochemistry and Biophysics Reports* 5: 253-258, 2016.
- 9) Kurabe K, Kojima T, Kato Y, Saito I, Kobayashi T: Impact of orthognathic surgery on oral health-related quality of life in patients with jaw deformities. *Int J Oral Maxillofac Surg* 45: 1513-1519, 2016.
- 10) Saito D, Mikami T, Oda Y, Hasebe D, Nishiyama H, Saito I, Kobayashi T: Relationships among maxillofacial morphologies, bone properties, and bone metabolic markers in patients with jaw deformities. *Int J Oral Maxillofac Surg* 45: 985-991, 2016.
- 11) Noda K, Kitami M, Kitami K, Kaku M, Komatsu Y: Canonical and noncanonical intraflagellar transport regulates craniofacial skeletal development. *Proc Natl Acad Sci* 113:E2589-E2597, 2016.
- 12) 高橋功次郎, 丹原 惇, 森田修一, 小林正治, 池田順行, 林 孝文, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症例における下顎単独後退術の下顎後退量の左右差と正中中部移動量との関係. *日顎変形誌* 27(1), 2017. (印刷中)
- 13) 佐藤知弥子, 八巻正樹, 渡辺和子, 八木 稔, 齋藤 功: 歯列に対する自己評価および客観的評価と矯正歯科治療の動機づけとの関連性. *Orthodontic Waves-Jpn Ed* 76(1):17-29, 2017.
- 14) 坂上 馨, 高橋功次郎, 丹原 惇, 森田修一, 齋藤 功: 最近 10 年間の新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における歯数異常症例の臨床統計調査. *新潟歯学会誌* 46(2): 83-88, 2016.
- 15) 池田順行, 小原彰浩, 鶴巻 立, 瀬尾憲司, 齋藤 功, 高木律男: 顎矯正手術を行った筋緊張性ジストロフィーに伴う顎変形症の 1 例. *日口外誌* 62(12): 612-617, 2016.
- 16) 大森裕子, 丹原 惇, 高橋功次郎, 森田修一, 齋藤 功: 日本人を対象とした矯正歯科治療前後の赤唇に関する形態学的研究—小臼歯抜去により治療したアングル I 級上下顎前突症例における矯正歯科治療前後の赤唇形態変化. *Orthod Waves-Jpn Ed* 75(2): 97-105, 2016.
- 17) 福井忠雄, 齋藤 功: 新潟大学の矯正臨床は今—そして近未来の治療戦略—. *甲北信越矯歯誌* 24(1):

3-10, 2016.

- 18) 越知佳奈子, 山添清文, 森田修一, 齋藤 功: 歯周疾患を伴う成人 Angle Class II subdivision 叢生症例. 甲北信越矯歯誌 24(1): 83-91, 2016.
- 19) 小島 拓, 加藤祐介, 船山昭典, 三上俊彦, 倉部華奈, 原 省司, 朝日藤寿一, 八卷正樹, 齋藤 功, 小林正治: 著しい長顔を呈する顎変形症患者に対し馬蹄形骨切り併用 Le Fort I 型骨切り術を施行した 1 例. 新潟歯学会雑誌 46(1): 21-26, 2016.
- 20) 竹山雅規, 池元太郎, 森田修一, 山田秀樹: 成人女性における顎顔面構造の経年的変化. Monog Clin Orthod. 37: 39-47, 2016.

#### 【研究費獲得】

- 1) 齋藤 功, 槇宏太郎, 丹原 惇: 顎骨内応力解析を用いた成長シミュレーションによる顎変形症診断システムの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 26463090, 2016.
- 2) 越知佳奈子, 齋藤 力, 齋藤 功: 機械学習理論を実装した顎変形症診断支援データベースシステムの開発とその臨床応用. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 26463091, 2016.
- 3) 大竹正紀: 加齢に伴う三叉神経領域における異常疼痛の発現機序の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究(B), 15K20639, 2016.
- 4) 大倉麻里子: 矯正的歯の移動におけるプロスタグランジン I<sub>2</sub>に着目した疼痛メカニズム解析. 平成 28 年度年度研究活動スタート支援, 16H06818, 2016.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Saito I: "Morphological and functional aspects before and after orthognathic surgery in dentofacial deformities"; International Session Symposium A3 "A new paradigm of orthodontics in the world: Evidence-based clinical orthodontics". The 23rd general meeting of the Japanese association for dental science, Fukuoka, 23th-25th October, 2016.
- 2) Saito I: Postoperative changes in hard and soft tissues for various types of orthognathic patients and swallowing aspect in mandibular prognathism patients. The 22nd Malaysian association of orthodontists scientific conference, Malaysia, 23th-25th April 2016, abstract book: p11, 2016.
- 3) Saito I: Collaborative treatment in adult orthodontic patients -Remedies combined with orthognathic surgery and /or tooth auto

transplantation-. The 22nd Malaysian association of orthodontists scientific conference, Malaysia, 23th-25th April 2016, abstract book: p11, 2016.

- 4) 齋藤 功: スタンダードエッジワイズ装置を基本に据えた矯正歯科治療と臨床教育. 第 75 回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 98 頁, 2016.
- 5) 齋藤 功: 臨床セミナー 3 「マルチブラケットシステムの治療の効率性と安定性」コーディネーター・座長. 第 75 回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 97-101 頁, 2016.
- 6) 齋藤 功: 教育講演「矯正歯科の現在」コーディネーター・座長. 日本歯科審美学会第 27 回学術大会, 北海道, 2016 年 8 月 26 日-28 日, 同学会抄録集: 48-49 頁, 2016.
- 7) 丹原 惇: 招待講演「矯正歯科領域における生体モデルを想定した FEA」. CAE 利用技術研究会 2016, 東京, 2016 年 8 月 5 日, プログラム抄録集: 136 頁, 2016.
- 8) 齋藤 功, 佐々木朗: シンポジウム 3 「逆カントを呈する顔面非対称症例への対応」コーディネーター・座長. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26 (2) : 77-83 頁, 2016.
- 9) 齋藤 功: 外科的矯正治療に係わる教育の現状 (教える立場から). 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26 (2) : 98-99 頁, 2016.
- 10) 齋藤 功: シンポジウム I 「第二期矯正治療の結果から治療管理システムを考察する-片側性唇顎口蓋裂を対象として-」コーディネーター・座長. 第 40 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 大阪, 2016 年 5 月 26 日-27 日, 日本口蓋裂学会雑誌 41 (2) : 67-69 頁, 2016.
- 11) 齋藤 功: 矯正歯科治療とは? -特殊性とその意義-. 日本の歯科の力・明るい歯科医療の未来を創る, 東京, 2016 年 5 月 14 日-15 日, プログラム・抄録集: 13 頁, 2016.

#### 【学会発表】

- 1) Kojima T, Kurabe K, Kato Y, Hasebe D, Takatsuji H, Katagiri W, Saito I, Kobayashi T: A questionnaire study after orthognathic surgery in patients with jaw deformities. The 55 th congress of the Korean association of maxillofacial plastic and reconstructive

- surgeons, Korea, 4th-6th November 2016, abstract book: p47, 2016.
- 2) Kitami K, Kitami M, Komatsu Y; Gene regulatory network via BRCA1 and BRCA2 is critical for craniofacial bone development. ASBMR annual meeting 2016, Atlanta, 16th-19th September 2016, abstract book: p285, 2016.
  - 3) Fukui T, Sakaue K, Hori K, Ono T, Saito I: An investigation on the relationship between tongue pressure during deglutition and antero-posterior skeletal discrepancy mandibular prognathism. The 92nd congress of European orthodontic society, Sweden, 11th-16th June 2016.
  - 4) Ochi-Yamazoe K, Yamazoe K, Nishino K, Morita S, Saito I: A new system for analyzing the coordination of dentoalveolar morphologies. The 92nd congress of European orthodontic society, Sweden, 11th-16th June 2016.
  - 5) Ishii K, Yoshizawa M, Yoshizawa M, Funato A, Ihyo C, Furusato M, Hayashida T, Ishii N: A review of eight autotransplanted teeth with complete root formation. The 1st congress on tooth transplantation, Poland, 20th-22th May 2016.
  - 6) Kitami K, Kitami M, Komatsu Y; BRCA1 is critical for craniofacial skeletal development. Bone disease program of Texas, 13th Annual scientific retreat, Houston, 6th May 2016, abstract book: p14, 2016.
  - 7) 小山貴寛, 児玉泰光, 永田昌毅, 池田順行, 小野和宏, 丹原 惇, 齋藤 功, 飯田明彦, 高木律男: 顎裂部骨移植時における裂部側切歯の状態と咬合への関与. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2016 年 11 月 25 日-27 日, 日本口腔外科学会雑誌 62: 264 頁, 2016.
  - 8) 新島綾子, 森田修一, 高橋功次郎, 丹原 惇, 池田順行, 小林正治, 齋藤 功: クラスタ分析による骨格性下顎前突症例における正貌パターンの分類. 第 75 回日本矯正歯科学会大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 136 頁, 2016.
  - 9) 大森裕子, 丹原 惇, 高橋功次郎, 森田修一, 齋藤 功. 小白歯抜去により治療した Angle Class III 下顎前突における矯正治療前後の赤唇形態の変化. 第 75 回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 146 頁, 2016.
  - 10) 丹原 惇, 藤田 瑛, 池真樹子, 児玉泰光, 齋藤 功: 有限要素法を用いた下顎枝垂直骨切り術施行後の術後変化予測. 第 75 回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 178 頁, 2016.
  - 11) 北見公平, 北見恩美, 齋藤 功, 小松義広: がん抑制遺伝子 BRCA1 は口蓋形成に必須である. 第 75 回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 193 頁, 2016.
  - 12) 大倉麻里子, 大倉直人, 野杵由一郎, 齋藤 功: 実験的歯の移動時におけるラット臼歯歯髓内 Prostaglandin I<sub>2</sub> 合成酵素と IP 受容体の発現解析. 第 75 回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 203 頁, 2016.
  - 13) 佐藤知弥子, 丹原 惇, 八巻正樹, 渡辺和子, 八木稔, 齋藤 功: 総合大学新入生における矯正歯科治療経験者の矯正治療に対する認識度の検討. 第 75 回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 219 頁, 2016.
  - 14) 眞館幸平, 大澤知朗, 深町直哉, 水越 優, 高橋功次郎, 丹原 惇, 森田修一, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における過去 10 年間の新規登録患者の臨床統計調査. 第 75 回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 224 頁, 2016.
  - 15) 坂上 馨, 高橋功次郎, 大森裕子, 中田樹里, 新島綾子, 村上智子, 阿部 遼, 網谷季莉子, 市川佳弥, 栗原加奈子, 藤田 瑛, 森田修一, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における歯数以上症例の統計調査. 第 75 回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 226 頁, 2016.
  - 16) 八巻正樹: 歯科矯正用アンカースクリューおよび矯正用インプラントアンカー (仮称) 併用時の改良型負荷装置の考案. 第 75 回日本矯正歯科学会大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 233 頁, 2016.
  - 17) 大竹正紀, 丹原 惇, 大竹正人, 高橋功次郎, 森田修一, 齋藤 功: 混合歯列期に歯列弓拡大を行った症例における大白歯間幅径の長期的変化-第 2 報-. 第 75 回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 252 頁, 2016.
  - 18) 西野和臣, 市川佳弥, 越知佳奈子, 丹原惇, 森田修一, 齋藤 功: 矯正治療前後における下顎歯槽部形態の三次元的変化について -Pilot study-. 第 75 回日本矯正歯科学会大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日

- 9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 253 頁, 2016.
- 19) 須佐美隆史, 府川俊彦, 宮崎晴代, 坂本輝男, 森下格, 佐藤嘉晃, 金野吉晃, 倉田和之, 渡邊佳一郎, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 症候群性頭蓋骨縫合早期癒合症患者に対するチーム医療の実態調査-矯正歯科医による多施設共同研究-. 第 75 回日本矯正歯科学会大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 266 頁, 2016.
- 20) 上村藍太郎, ザキルホサイン, 高橋功次朗, 大竹正紀, 北川純一, 山村健介, 齋藤 功: 三叉神経領域の神経障害性疼痛に対する内因性カンナビノイドの鎮痛作用. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2016 年 11 月 5 日, 抄録集: 10 頁, 2016.
- 21) 北見公平, 北見恩美, 加来 賢, 小松義広, 齋藤 功: がん抑制遺伝子 BRCA1 は顎顔面骨の形態形成に必須である. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2016 年 11 月 5 日, 抄録集: 10 頁, 2016.
- 22) 浅井佑介, 長谷部大地, 小島 拓, 齋藤 功, 小林正治: 顎矯正手術が鼻咽腔気道に及ぼす影響について. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2016 年 11 月 5 日, 抄録集: 16 頁, 2016.
- 23) 坂上 馨, 福井忠雄, 栗原加奈子, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者の嚥下時舌圧発現様相. 第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016 年 10 月 21 日-23 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 280 頁, 2016.
- 24) 中田樹里, 柿原嘉人, 秋葉陽介, 丹原 惇, 齋藤 功, 佐伯万騎男: 破骨細胞分化に影響を与える薬剤のスクリーニングとその作用機序の解析. 第 34 回日本骨代謝学会学術集会, 大阪, 2016 年 07 月 21-23 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 207 頁, 2016.
- 25) 大森裕子, 丹原 惇, 高橋功次朗, 森田修一, 齋藤 功: 日本人を対象とした小臼歯抜去を適用した矯正歯科治療前後の赤唇形態の変化. 平成 28 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2016 年 7 月 9 日, 抄録集: 11 頁, 2016.
- 26) 竹山雅規, 八巻正樹, 福井忠雄, 齋藤 功: 多数歯先天性欠如を伴う不正咬合に対する矯正治療. 第 31 回甲北信越矯正学会大会, 新潟, 2016 年 7 月 3 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 35 頁, 2016.
- 27) 坂上 馨, 高橋功次朗, 丹原 惇, 森田修一, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における歯数異常症例の臨床統計調査. 第 31 回甲北信越矯正学会大会, 新潟, 2016 年 7 月 3 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 36 頁, 2016.
- 28) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功: 非抜歯により治療した成長期アングル I 級叢生症例. 第 31 回甲北信越矯正学会大会, 新潟, 2016 年 7 月 3 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 52 頁, 2016.
- 29) 大竹正紀, 森田修一, 齋藤 功: 上顎切歯の唇側傾斜を伴う Angle Class II division 1 上顎前突症例. 第 31 回甲北信越矯正学会大会, 新潟, 2016 年 7 月 3 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 53 頁, 2016.
- 30) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 齋藤太郎, 北村厚, 西山秀昌, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男: 歯科矯正治療後に生じた片側性下顎頭吸収による開咬に対し歯科矯正用インプラントを併用して顎間牽引を行った 1 例. 第 29 回日本顎関節学会・学術大会, 神奈川, 2016 年 7 月 17-18 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 136 頁, 2016.
- 31) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男: 片側性の下顎頭吸収による開咬に対し顎間牽引を行った 1 例. 第 100 回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2016 年 7 月 11 日.
- 32) 倉部華奈, 隅田好美, 小島 拓, 加藤祐介, 齋藤 功, 小林正治: 外科的矯正治療による顎変形症患者の心理・社会的変化の過程. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 109 頁, 2016.
- 33) 小林正治, 加藤祐介, 新美奏恵, 長谷部大地, 池元太郎, 齋藤 功: 馬蹄形 Le Fort I 型骨切り術による上顎骨後方移動. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 129 頁, 2016.
- 34) 新島綾子, 森田修一, 高橋功次朗, 丹原 惇, 池田順行, 小林正治, 齋藤 功: 偏位を伴う骨格性下顎前突症例における顎矯正手術後の正貌輪郭の変化. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 141 頁, 2016.
- 35) 村上智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症における脳頭蓋底の三次元形態分析. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 141 頁, 2016.
- 36) 坂上 馨, 福井忠雄, 栗原加奈子, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における嚥下時舌圧発現様相の分析. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 156 頁, 2016.

- 37) 阿部 遼, 福井忠雄, 坂上 馨, 林 孝文, 齋藤 功: 嚥下時舌機能評価における超音波断層法の有用性. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 156 頁, 2016.
- 38) 丹原 惇, 高橋功次郎, 市川佳弥, 朝日藤寿一, 森田修一, 児玉泰光, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 矯正単独で最終咬合治療を開始した完全唇顎口蓋裂の第 II 期治療に関する調査. 第 40 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2016 年 5 月 26 日-27 日, 日本口蓋裂学会雑誌 41(2): 136 頁, 2016.

#### 【研究会発表】

- 1) Kitami K: BRCA1 regulates craniofacial bone development. University of Texas pediatric research center annual research retreat, Houston, 16th June 2016.
- 2) Kitami K: BRCA1 regulates intramembranous ossification during embryogenesis. Developmental Genetics Meeting, Houston, April 8, 2016.
- 3) 上村藍太郎, ザキルホサイン, 高橋功次郎, 大竹正紀, 北川純一, 山村健介, 齋藤 功: 内因性カンナビノイド分解酵素阻害剤を用いた神経障害性疼痛における鎮痛効果の検討. 第 10 回三叉神経領域の感覚-運動統合機能研究会, 長野, 2016 年 11 月 26-27 日, 抄録集: 11 頁, 2016.
- 4) 福井忠雄: 成人上顎前突・開咬症例. 第 38 回与五沢矯正研究会, 福島, 2016 年 4 月 18 日.
- 5) 福井忠雄: 叢生を伴う成長期上顎前突症例 (ハイアングル症例). 第 38 回与五沢矯正研究会, 福島, 2016 年 4 月 18 日.
- 6) 福井忠雄: 右側唇顎裂を伴う成長期上顎前突症例. 第 38 回与五沢矯正研究会, 福島, 2016 年 4 月 18 日.
- 7) 竹山雅規: 成長期の過蓋咬合症例. 第 38 回与五沢矯正研究会, 福島, 2016 年 4 月 18 日.
- 8) 竹山雅規: 上顎両側第二小臼歯埋伏、下顎左側第二小臼歯の先天性欠如を伴う上突咬合症例. 第 38 回与五沢矯正研究会, 福島, 2016 年 4 月 18 日.

#### 【受賞】

- 1) 北見公平, 北見恩美, 齋藤 功, 小松義広, : がん抑制遺伝子 BRCA1 は口蓋形成に必須である. 優秀ポスター賞, 第 75 回日本矯正歯科学会大会・学術大会, 2016 年 11 月 9 日.
- 2) 北見公平, 北見恩美, 加来 賢, 小松義広, 齋藤 功: がん抑制遺伝子 BRCA1 は顎顔面骨の形態形成に必須である. 平成 28 年度新潟歯学会賞. 平成 28 年度第

2 回新潟歯学会例会、2016 年 11 月 5 日.

- 3) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 齋藤太郎, 北村厚, 西山秀昌, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男: 歯科矯正治療後に生じた片側性下顎頭吸収による開咬に対し歯科矯正用インプラントを併用して顎間牽引を行った 1 例. 優秀ポスター賞, 第 29 回 日本顎関節学会・学術大会, 2016 年 7 月 17-18 日.
- 4) 坂上 馨, 福井忠雄, 栗原加奈子, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における嚥下時舌圧発現様相の分析. 優秀ポスター賞, 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 2016 年 6 月 25 日.
- 5) 村上智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症における脳頭蓋底の三次元形態分析. 優秀ポスター賞, 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 2016 年 6 月 25 日.

#### 【その他】

- 1) 福井忠雄: 成長期上下顎前突症例. 第 4 回 国際歯科シンポジウム, 東京, 2016 年 11 月 13 日.
- 2) 福井忠雄: 成長期上顎前突症例. 第 4 回 国際歯科シンポジウム, 東京, 2016 年 11 月 13 日.
- 3) 竹山雅規: 成長期の上顎歯列が前突した咬合, 叢生. 第 4 回国際歯科シンポジウム, 東京, 2016 年 11 月 13 日.
- 4) 竹山雅規: 成人の上顎歯列が前突した咬合, 叢生. 第 4 回国際歯科シンポジウム, 東京, 2016 年 11 月 13 日.
- 5) 大倉麻里子: 矯正力を付与されたラット臼歯における Prostaglandin I<sub>2</sub> 合成酵素, IP 受容体および TRPV1 の発現の変動: 免疫組織化学的検索および遺伝子発現解析. 学位研究紹介, 新潟, 2016 年 7 月 20 日, 新潟歯学会雑誌 46(1): 41-42 頁, 2016.
- 6) 北見公平: 繊毛内輸送タンパクは、古典的経路と非古典的経路の双方を介して頭蓋顔面骨格の発生を制御する, 日本骨代謝学会ホームページ「1st Author」解説, [http://www.jsbmr.jp/1st\\_author\\_mkitami.html](http://www.jsbmr.jp/1st_author_mkitami.html)
- 7) 丹原 惇: 医工連携事例インタビュー「歯科矯正医療への数値シミュレーション活用」. 株式会社 JSOL ホームページ掲載 <https://cae.jsol.co.jp/product/tool/simpleware/cases/caseI02/>